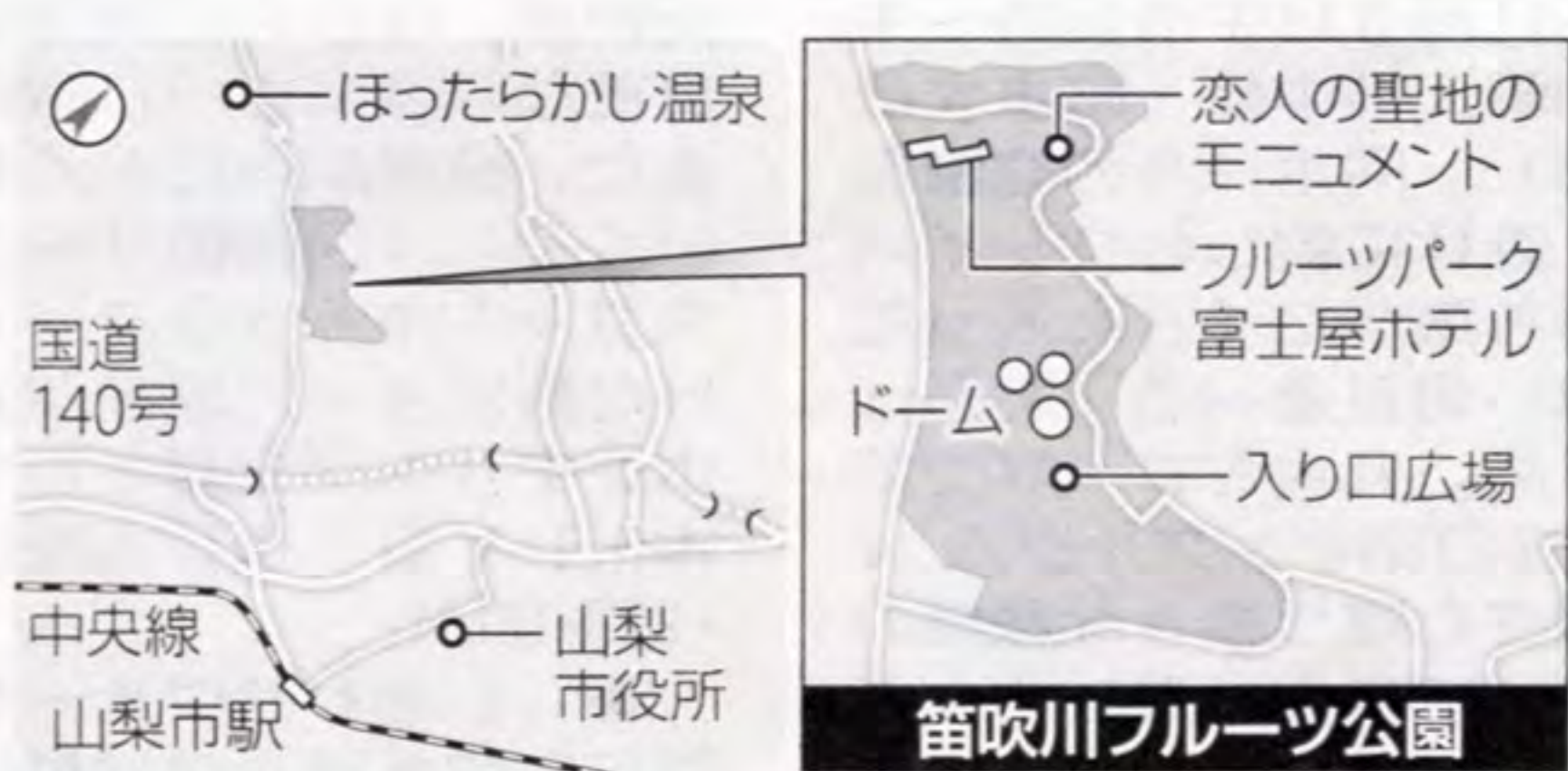




▲ フルーツ公園から見た甲府盆地の夜景（フルーツパーク富士屋ホテル提供）

笛吹川フルーツ公園（山梨市）



開園しておよそ20年。果物に囲まれて憩える場は、「恋が実る場」にも育った。高台にある園内を歩くと、あちこちに果樹が植えられ、この時期は実の大きな甲州百目柿などがたわわに実る。ブドウ棚にはまだブドウも見られる。果物の生産が盛んなこの地域を凝縮したような公園だ。

子どもが遊べる池もあって夏場は親子連れでにぎわうが、夜は異なる顔を見せる。園から眼下に広がる甲府盆地の景色は2003年に「新日本三大夜景」に選ばれた。「首都圏や東海方面から観光バスで夜景を見に来る人が増えています」と公園の指定管理者「山梨市フルーツパーク」の浅野要明さんが話す。昼間に園内の他の観光地に行った後に訪れることが多いそう

だ。夜のとぼりが下りる頃、カップルが次々と車や歩いてきて、園内のそこかしこ

で肩を寄せ合う。「空気が澄むこれからの時期の景色は特にオススメ」と浅野さん。07年にはNPO法人「地域活性化支援センター」（静岡市）から「恋人の聖地」にも選定されている。

「おじいちゃんとおばあちゃんになっても、手を取り合って生きていきたい」「はい、もちろん」。昨年9月、ここで夜景を見ながら甲府市の会社員男性（24）は同年の恋人にプロポーズした。

出身地の山梨で就職が決まった男性と、東京都内で就職する予定だった女性。以前にデートで園を初めて訪れた際、女性は「会えないのはさみしい」と決意、内定を辞退して甲府市内で仕事を見つけた。2人で園を再訪し、女性はプロポーズを受けた。

園内にあるフルーツパーク富士屋ホテルの営業課長、赤池勝さんは「初デート、あるいは恋の告白、プロポーズと、どこかの節目で公園を利用されるカップルは多いのではないしょうか」と話す。今月24日、日中に訪れた東京都と千葉県の27歳同士のカップルは、「聖地があると聞いて来ました。景色が素晴らしい。今度は夜に来たいな」と見つめ合っていた。

ちなみに、ホテルのカフェでは人気のフルーツパフェを提供しているが、園内に実る果物は観賞用のため、もいで食べることはできない。「禁断の果実」だそうです。

果実も恋もたわわに



果樹園や果物にまつわる施設がある笛吹川フルーツ公園（20日、本社へりから）

文・荒谷康平
空撮写真・米山要
操縦士・大谷典正
久永圭一
整備士・片岡玄



①園内の「恋人の聖地」。手をつないで景色を見下ろせば愛が深まること請け合いた
②園内では季節の果物が実る。今の時期は柿